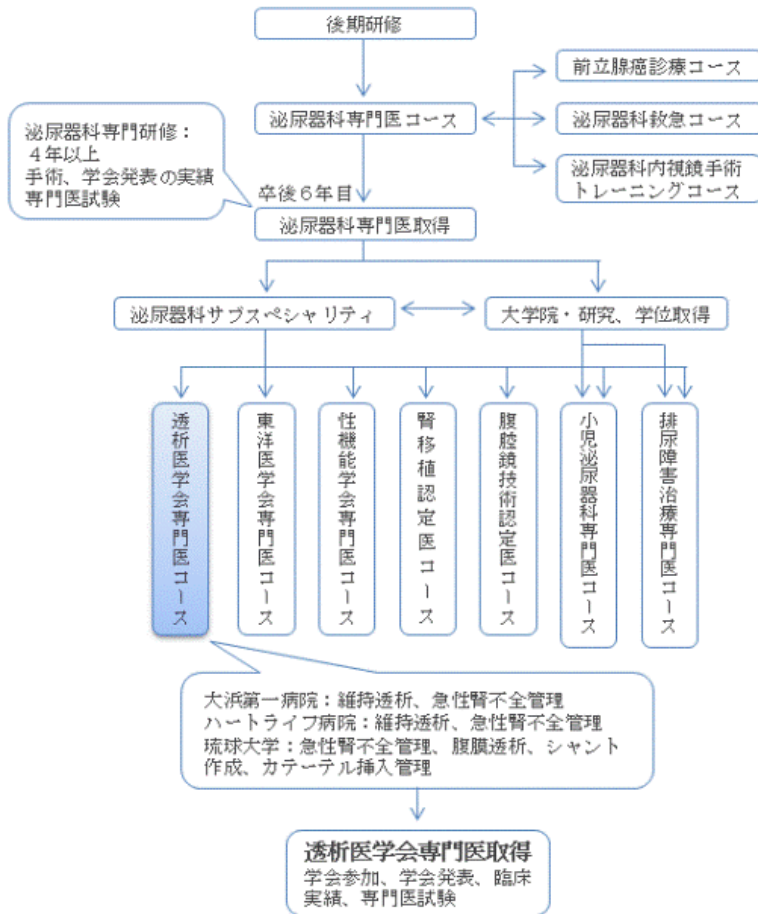


## □ 後期研修プログラムについて

### ■ 日本透析医学会専門医コース

#### <コースの全体像>

琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部は旧国立大学病院系の病院の中では現在全国第一位の臨床業績をあげている。慢性腎不全や急性腎不全のために血液浄化療法が必要になった場合や、他の自己免疫疾患に対するアフエーシス、および肝不全時の血漿交換など多岐にわたる血液浄化法に対応している。研修にあたってはまずその疾患の理解を担当科医師と十分に情報交換する機会があり知識を深めることができ、それに対する血液浄化法の手技や理論を習得することができる。また、血液浄化法を施行する際に非常に重要となるバスキュラーアクセスにおいても一般的な動静脈シャント術をはじめ、他施設に先駆けて長期型バスキュラーカテーテルを積極的に導入しており、多岐にわたるアクセス番号を習得することができる。



#### <コースの概要>

大学院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	血液透析	2名	維持血液透析急性じん不全管理	1名	3ヶ月
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	血液透析	3名	急性腎不全管理 腹膜透析 シャント作成術 カテーテル管理	3名	6ヶ月
				受入人数	2名	

#### <コースの実績>

現在10台にコンソールを持ち、他院では治療できない特別な疾患を罹患している、もしくは合併症のため他院では治療できないために紹介となった患者の維持透析を行っているのが当院の特徴である。年間30例程度のシャント作製をはじめ、長期型バスキュラーカテーテルも年間20例以上行っている。その他に20人程度の外来維持透析患者が通院しており、一般的な維持透析療法も学ぶことが可能である。

#### <コースの指導状況>

現在日本透析医学会の専門医資格を持つ泌尿器科医は5人おり、実際の臨床の場にはかならず一人は医師が立ち会っている。血圧やリンのコントロールのような維持透析管理はもちろんのこと、シャント作製や動脈の表在化のような一般的な手術をはじめ、短期型や長期型バスキュラーカテーテルの挿入および管理を十分指導することができる。

#### <専門医の習得等>

学会等名	日本透析医学会
------	---------

資格名	専門医
資格要件	総会出席2回以上、専門医要件50単位取得、専門医試験あり
学会の連携等の概要	年1回の総会があり、専門医資格を取得するために参加が義務づけられている。九州および県レベルでも大規模な研究会があり発表する機会が多く、勉強することが可能である。